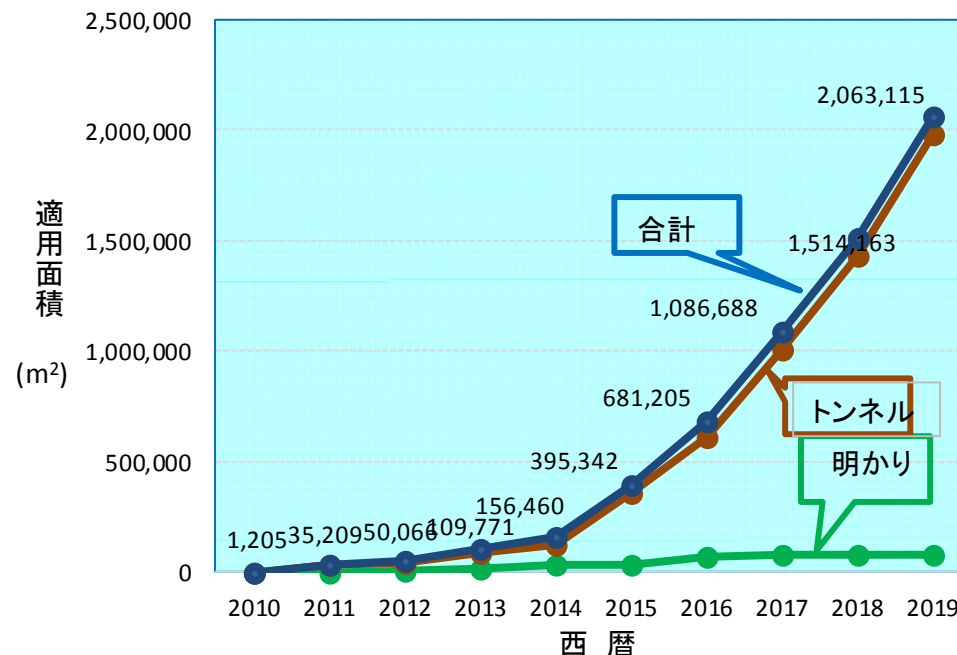


**適用完了157万m<sup>2</sup>と適用中45万m<sup>2</sup>を合わせた適用面積が200万m<sup>2</sup>を突破しました。**

## アクアカーテンの主な歴史

- 2010/ 8: 川崎市の浄水場建設工事で初めての適用
- 2011/ 7: アクアカーテン普及会ホームページ開設。
- 2011/ 9: NETIS登録番号:HR-110011-A
- 2012/ 5: 2012年日本コンクリート工学会賞(技術賞)受賞
- 2012/ 5: 平成23年土木学会賞【技術開発賞】受賞
- 2012/12: Journal of Civil Engineering and Architectureに掲載。
- 2013/ 2: ARIC情報に登録:登録番号:1032
- 2013/ 5: First International Conference on Concrete Sustainability (ICCS 13)において投稿論文が最優秀技術賞を受賞
- 2013/ 9: 給水養生工法の開発とトンネル覆工への適用で九州大学より学位取得
- 2013/11: 適用完了面積が10万m<sup>2</sup>を突破
- 2014/11: 土木学会100周年記念出版日本が世界に誇るコンクリート技術の中で養生技術の一つにアクアカーテンを選定
- 2015/ 6: 適用完了面積が30万m<sup>2</sup>を突破
- 2015/ 7: アクアカーテンホームページへのアクセス回数が10,000回を超える
- 2015/10: 建設技術展2015近畿で開催された新技術登録技術ベスト16に選定
- 2016/ 3: アクアカーテンの応用に関する研究で東京工業大学より学位取得
- 2016/ 5: NETIS登録番号:HR-110011-AがHR-110011-VEに
- 2017/ 3: アクアカーテンの関連論文数が56編となる
- 2017/10: 適用完了面積が100万m<sup>2</sup>を突破
- 2018 /3: アクアカーテンでトンネル覆工の耐久性向上を図る開発で埼玉大学より学位取得
- 2018/ 9: アクアカーテンニュースNo.41を発行
- 2018/11: アクアカーテンを活用したコンクリートの電気化学的補修によって塩害劣化した栈橋の脱塩効果を確認
- 2019/ 1: 適用完了面積157万m<sup>2</sup>に適用中面積45万m<sup>2</sup>を合わせて200万m<sup>2</sup>を突破



**2014年以降 適用面積が毎年40万m<sup>2</sup>前後で増加しています**

**鉄筋コンクリート構造物にとって表層コンクリートを密実化し、劣化因子の侵入を抑制することはきわめて大切な施工上のポイントと言えます。**

**型枠取りはずし面の給水養生にアクアカーテンはなお一層活躍することが期待されます。**